

# まちのわだより



第1回  
5月12日(火)

～和と輪と話でつながる、わたしたちのまち～

5月12日(火)「まちのわ」第1回を福寿にて開催しました。

「まちのわ」は地域の中で“支え合い”の輪を広げていきたいという思いから始まった取り組みです。昔は近所同士で声をかけ合ったり、困ったときに自然と助け合ったりする関係が地域の中にありました。今はそうしたつながりが少しずつ薄れ、「困っていても頼れない」「相談する相手がいない」という声も増えています。

そこで私たちは、「地域の福祉力を上げたい」「住民同士が支え合える地域をつくりたい」という思いをもとに「生活援助従事者研修」の立ち上げも目指しています。



## 参加メンバー

ケアステーションにしこう博多/堀さん、猪原さん、西尾さん、大塚さん  
社会福祉協議会/古本さん、民生委員/原田さん、  
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団/田中、梶川、上原、柿村、伊川、今泉、大山

### 「生活援助従事者研修」 について最初は不安の声も・・・

話し合いのなかでは、最初、  
「受講料が高いのでは？」  
「無料の講座があるなかで、  
時間もお金も使って受講する  
人がいるだろうか・・・」  
「資格をとっても活躍の場が  
なかったら・・・」

### 「介護」は 特別な人だけのものではない

生活援助従事者研修は、掃除・洗濯・  
調理・買い物など、日常生活を支える  
ための知識や技術を学ぶ研修です。  
でも、それだけではありません。  
認知症や老いについて学ぶことは、自分自身のこれ  
からの暮らしや家族の未来を考えることにもつながる  
ということ、みなさんのお話の中であらためて  
学びました。  
そしてなにより、“地域とのつながり”を  
取り戻すきっかけになるということも  
再認識できました。

### 話しているうちに 見えてきたこと

「受講して終わりではなく、  
地域で活躍できる場につながる  
ことが大事」  
「地域密着でやるなら、地域の事業所も協力してくれると  
いいですね」  
「子育てがひと段落して、これから自分の親の介護を迎える  
60～70代の方には自分事として学べる内容かもしれない」  
「地域とつながれるきっかけになりますね」  
そんな前向きな意見が次々出てきました。  
そして最後には、「私も受講しよっかな」という嬉しい声まで  
聞かれました。

### これからの「まちのわ」

地域の支え合いは、制度やサービスだけで  
成り立つものではありません。  
特別な誰かだけが持っているものではなく、  
ひとりひとりの「気にかける気持ち」や「できる  
こと」の中にもあるのだと、みなさんとお話を  
しながら考えさせられました。  
私たちだけではできないことも、みなさんと  
一緒なら、少しずつカタチにしていけるかも  
しれません。  
みなさんと一緒に学び、考え、支え合える  
地域づくりを進めていきたいと考えてい  
ます。  
ぜひ、みなさんのお力を貸して  
ください。  
これからの「まちのわ」を一緒に  
つくっていただけたら嬉しいです。



今後、「まちのわ」では  
**映画上映会**  
文化庁映画賞 文化記録映画大賞「ほけますから、よろしく願います。」  
「医師中村哲の仕事・働くということ」



### 認知症学習会&相談会

など開催予定です。(開催日時、会場が決定次第、お知らせいたします)

労働者協同組合労協センター事業団

ケア・ワーカーズステーション福寿

〒812-0053

福岡市東区箱崎4丁目37-9

☎092-643-6670

